

平成24年6月

6月は「全国安全週間準備月間」です！！

<スローガン>

「ルールを守る安全職場 みんなで目指すゼロ災害」

(6月：準備月間 7月1日～7日：本週間)

安全週間には、安全を最優先する企業文化である「安全文化」を醸成するため、各事業場では、次の事項を実施しましょう。

<安全週間及び準備期間中に実施する事項>

経営トップは安全について所信を明らかにし、自らが率先して職場の安全パトロール等を行い、安全について従業員への呼びかけを行いましょ。

今後の安全の進め方について考える職場の集い等を催し、関係者の意志の統一、安全意識の高揚等を図りましょ。

作業上の注意喚起の「見える化」等、分かりやすく全員で取り組みやすい安全活動の募集及び発表を行いましょ。

安全旗の掲揚、標語等の掲示、安全関係資料の配布等を行いましょ。

作業を直接指揮する優良な職長等の顕彰等を実施しましょ。

安全についての作文、写真、標語等の募集及び発表を行いましょ。

安全に関する視聴覚教材等を活用した講演会等を開催しましょ。

労働者の家族に対し、安全についての文書の送付、職場見学等を行い、家族の協力を求めましょ。

ホームページ等を活用し、自社の安全活動等について社会に発信しましょ。

緊急時の措置について必要な訓練を行いましょ。

「安全の日」等の設定を行いましょ。

その他安全週間及び準備期間にふさわしい行事を行いましょ。

<http://www.jisha.or.jp/campaign/anzen/youkou.html>

「熱中症」を防ごう！

まだ、暑さに慣れていないこの時期から「熱中症」対策が必要です。熱中症の予防には、「水分補給」と「暑さを避けること」が大切です！

<http://www.jaish.gr.jp/information/nettyu.html>



労働相談が過去最多の5487件となる！

茨城労働局管内の「個別労働紛争解決制度」に寄せられた相談が、前年に比べ7.6%増で、過去最多の5487件になりました。そのうち、最も多かったのは「解雇」の1204件ですが、「解雇」は前年に比べ14.7%減少しました。それに比べ、「いじめ・嫌がらせ」は前年に比べ36.5%増の1089件と大幅に増えました。

鹿嶋署の窓口での相談でもパワハラ等の相談が増える傾向にあります。

「個別労働紛争解決制度」による労働相談は当署を含め県内の労働基準監督署、ハローワーク、茨城労働局総務部企画室で受け付けています。お気軽にご相談ください。

http://ibaraki-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/roudoukyoku/kanren_shisetsu/sougou_roudou_soudan/annai02.html

「死亡・重大災害」が多発しています！！

鹿嶋労働基準監督署管内では、昨年10月に「死亡災害ゼロ」の記録「398日」を達成しましたが、その記録が途絶えてから、「死亡・重大災害」が多発しています。5月30日には建設業で重機との接触による死亡災害が発生しています。

特に、「建設業」は労働災害が前年に比べ倍増となり、「墜落災害」、「重機災害」、「土砂崩壊災害」等建設業の「三大災害」も目立っています。

平成24年の労働災害発生状況（速報）

	平成24年	平成23年
製造業	15	14
建設業	14	16
運輸交通業	9	6
その他	19	22
合計	58	58

めざせ死亡災害ゼロ 250日
0日（5月31日現在）

（過去最長：平成22年9月17日～平成23年10月19日までの398日間）

数字は死亡災害（5月31日現在）

平成24年の死亡災害事例（鹿嶋署管内）

	業種	発生月	事故の型	発生状況
1	化学工業	3月	火災	工場内で振動ふるい機を使用して、粉状の有機化合物を小分けし、袋に詰める作業を行っていたところ、振動ふるい機付近から出火し、作業員2名が死亡し、1名が火傷を負った。
2	廃棄物処理業	4月	墜落	フォークリフトのフォークにパレット代わりにした軽トラックの荷台上の古タイヤをトラックに積み替えていたところ、軽トラックの荷台が転倒し、荷台と共に地面に墜落し、数日後に死亡した。

「鹿嶋労基署広報」のバックナンバーは茨城労働局のホームページに掲載しています。

アドレスは下記のとおりです。ぜひ、ご覧ください。

http://ibaraki-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/news_topics/kantokusho_oshirase/kashima.html